



# 鈴木空如特別展

# 画聖 空如・祈りとかたち展

法隆寺金堂壁画模写に生涯を捧げた素顔を探る

作品展示公開

2014  
10.24金 11.3日

太田文化プラザ (秋田県大仙市太田町  
大仙市役所太田支所となり)

開館時間◎午前9時～午後4時

主な展示作品◎法隆寺金堂壁画原寸模写ほか  
関係作品と空如の遺品など

主催◎大仙市・大仙市教育委員会

協賛◎秋田県文化財保護協会太田支部  
太田の偉人を顕彰する会



国民文化祭応援事業

入場  
無料

どなたでもお気軽に  
お越しください。

空如模写 法隆寺金堂壁画(第11号壁)

お問い合わせ ◎大仙市文化財保護課 TEL.0187-63-8972  
◎太田公民館 TEL.0187-88-1119

Suzuki Kuunyo Work Exhibition

# 鈴木空如特別展

法隆寺金堂壁画模写に生涯を捧げた素顔を探る

遥かなる想いが今ここに

## 法隆寺金堂壁画

奈良斑鳩の里にある法隆寺は、聖徳太子が建立したと伝えられている寺院で、飛鳥時代の姿を一四〇〇年後の現在に伝える世界最古の木造建築物です。

一九九三年(平成五)には、ユネスコの世界文化遺産のリストに日本で初めて登録されるなど、世界的な仏教文化の宝庫として人々の注目を集めています。

その中でも金堂内の極彩色の壁画は、大陸から伝来した当時の仏教美術を知るうえで最も貴重なものですが、一九四九年(昭二四)壁画模写作業中に不慮の火災により、内陣の壁画が焼損してしまいました。

黒こげになった壁画(重要文化財)は現存しており、法隆寺の収蔵庫に保管されていますが、非公開です。

なお、金堂内の諸仏は難をまぬがれていますが、この火災がきっかけで文化財保護法が制定され、火災のあった一月二十六日が文化財防火デーになっています。現在、金堂に描かれている壁画は一九六六、六七年(昭四一、四二)に復元された新しいものです。

## 金堂壁画の模写と鈴木空如

焼損前の壁画は、その重要性から国などが明治期から昭和にかけて数回にわたり模写作業を行っています。



三国志から

これとは別に、明治期から昭和にかけて、優れた模写技術をもって仏教美術の研究に生涯を捧げた大仙市太田町出身の仏画家・鈴木空如も、この法隆寺金堂壁画模写に取り組みます。

明治期に入り、空海が日本に伝えた密教の儀規(ぎぎ・規則の意味)である仏の尊形・持物など、仏教美術の乱れが懸念されだして、これを正しい姿で後世に伝えようとした人が空如です。その彼の代表作が独力で三十年以上の長きにわたり模写に打ち込み完成させた原寸模写三組です。

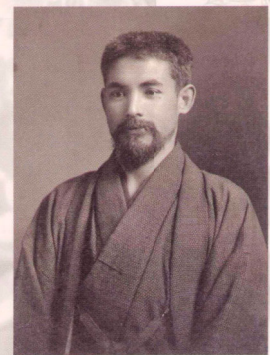
## 鈴木空如のこと

空如は明治期の寒村であった太田から上京し、日清戦争へ従軍後、経済的にも苦勞しながら東京美術学校(現東京藝術大学)に進みます。入学後、日本美術研究の権威・山名貫義(つらぬき)古仏画研究の第一人者・大村西崖(せいがい)らに教えを受け、密教の儀規の継承の必要性を実感し、普遍の美を仏教美術に求めて行くことになりました。

この頃は画壇に数多くの会やグループが結成・派生した時代ですが、空如は画壇の隆盛に関わることなく名譽と利益を離れ、ひたすら仏教が目指す久遠(くわん)の安らぎを自分の絵に求めていきます……。

## 今回の展示

今年の夏、東日本大震災・中越地震を乗り越えるための法隆寺展が、仙台市(宮城県)、東京藝大(東京都)そして長岡市(新潟県)で開催されました。この法隆寺展に空如



鈴木空如

明治6年(1873)、鈴木虎之介・フミの三男。本名を久治という。秋田県仙北郡小神成村13番地(現・大仙市太田町小神成)に生まれ、世界文化遺産・法隆寺の金堂壁画を模写したことで世に知られている。昭和21年(1946)73歳で没。

の金堂壁画模写が展示され、さらにNHK・Eテレの日曜美術館でも空如を紹介する番組が放映されるなど、空如の画業と人間性が注目を浴びようになりました。

今回の展示は、彼の描いた法隆寺金堂壁画を中心に、仏画研究の足跡的な作品に触れながら、画聖とも称された空如の素顔を探っていただければと思います。